



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

■オンライン相談受付中■

【発行元】

有限会社 トータル保険

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田 69-28

TEL 0235-25-1315 FAX 0235-25-1064



HPは
こちらからどうぞ♪



続けることで 見えてくる世界

高等学校野球部監督、Nさんの中学時代のお話です。

入学してすぐ、校長先生が一年生に「皆さん、今日から三年間、自分が食べた弁当箱を洗ってください。三年間自分の弁当箱を洗い続けることができた人は、私が責任をもって高校に入れてあげます」という話をしました。

「本当に？それで高校に入学できるなら楽なものだ」と思い、その日から弁当箱を洗い始めました。今思うと本当に単純です。

順調に続いていきましたが、一ヶ月位たった頃、帰宅が遅くなり、寝る前に弁当箱を洗い忘れていたことに気づきました。

その時、「今日で洗うのはやめようか？校長先生はああ言われたけれど、本当に高校に入れてもらえるかどうかも分からないし…」と、理由をつけてやめようとしている自分がいました。

親に三年間洗うと宣言した手前、一ヶ月しか続かない恥ずかしさとやめた気持ちで葛藤しました。結果、やっぱり洗うことを選択し、中学生のプライドが勝ちました。最大のピンチを何とか乗り越えられたのです。

それから一年後には、朝起きれば歯を磨くように、家に帰れば弁当箱を洗ってやっていたことが、無意識にできるようになりました。「行動が習慣」になったのです。こうなると続きます。

当初、勉強せずに高校へ行けるならと始めましたが、二年目になると、「校長先生が教えたかったのは、『継続の大切さ』なんじゃないか。弁当箱洗っても、風呂掃除でも何でもよくて、何かを続けることで生徒に根気や忍耐力を養ってほしかったんだ。三年間続けたら高校に入れてあげるとい言葉は、希望を持たせるためだ」と思うようになりました。

続けていく中で自ら気づいた瞬間でした。以来、中学・高校の六年間続けました。ちなみに教師になった今でも、弁当箱は自分で洗っています。授業でこの話をすると、弁当箱を洗うことや筋トレやランニングを始めた生徒もいます。そして、私が洗っているのを見て、弁当箱を洗い始めた先生もいます。継続の中で、段階を経ないと分からないことがたくさんあります。生活の中で何か一つでも続けることができる、たくさんさんのことを学ぶことができるでしょう。それはきっと、一生の宝物になるはずですから。

「保険って、 大切であると実感！」

鶴岡市 工藤さん

Q、なぜ弊社にお任せいただいているのでしょうか？

A、担当の方が、以前一緒に働いていた先輩でした。

保険の案内を受けた際、対応が丁寧で、説明がわかりやすく、保険の必要性をしっかりと理解出来た上で、お任せさせていただきました。

実際に保険を使用することもあり、安心して今後もお任せ出来ると感じました。結婚し、新しい家族も増えます。これからも家族でお世話になりたいと思います。

工藤さんには、当社に保険の窓口を一本化していただいております。安心して、幸せな生活を送っていただきたいです。

(担当 大川優平)



トータル保険
があつてよかった



土砂崩れの災害は何で補償される？

昨年12月31日、鶴岡市西目地区で発生した土砂崩れは残念ながら痛ましい事故となってしまいました。避けようのない事故であったのかもしれませんが。

今回のような災害の場合、何か補償してくれるものはあるのでしょうか？

実は、「火災保険」の水災です。ただし、水災補償が付いていなければ対象になりません。


水災と聞くと洪水などを思い浮かべますが、土砂災害も水災に該当します。

保険で備えることも大切ですが、普段から身の回りにそういった危険な所がないか確認しておくことはとても大事ですね。



生命保険・損害保険の総合プロデュース

有限会社

 **トータル保険**

TEL:0235-25-1315



営業時間 9:00~18:00

事業内容

- ・損害保険・生命保険の総合プロデュース
- ・マネー・相続等各種セミナー
iDeCo(個人型確定拠出年金)
- ・企業型確定拠出年金
カーリースの取扱

私たち保険の専門家が
ご対応いたします。
お気軽にご相談ください。



- ① 食べこぼす 爺の足元 猫待機
- ② 減っていく 妻との会話と 同級生
- ③ 超難問 祖母との会話 クイズ以上
- ④ 見逃した はずのドラマに 見覚えが
- ⑤ WEB予約 予約できたか 電話する

シルバー川柳

シニア世代を中心とした、人生の達人たちによる一句です



トータル情報 Café

「うかつに口車に乗らないように注意しましょう」

悪質な住宅修理業者や保険金申請サポート業者が言葉たくみに保険契約者を勧誘して、火災保険の不正請求を行うトラブルが相次いでいます。こうしたトラブルでは、

だまされた契約者が一方的に被害者になると思われませんが、なかには保険契約者も結果的に不正請求に加担してしまっていることもあるため、注意が必要です。

保険契約者がだまされる代表的なケースとしては「保険金を使えば無料で修理できる、保険金請求手続きも代行するなど勧誘を受けて住宅修理契約をしたものの、実際には保険対象外となって自腹を切られる」「保険金請求代行について法外な手数料を請求される」といったものがあります。

業者と契約する前に私たちに相談してくださいね！

台風や豪雨、大雪などの災害発生後は特に、こうした悪質な業者によるトラブルが多発する傾向にありますので、まずは連絡してください。

